平成30年度学校だより
善誘館 NO．５
Ｈ３０．７．１９
甲府市立善誘館小学校　校長室

校　訓　　「善行・勤勉・体育」
学校教育目標
○　思いやる心をもつ子
○　よく考え工夫する子
○　元気でたくましい子

１学期の協力に感謝です。有意義な夏休みを　「すべては子どものために」

明日で，７１日（１年生は７２日）間の１学期が終了となります。保護者をはじめ，地域の方々からご支援・ご協力をいただき，子どもたちのたくさんの笑顔と頑張りが見られた１学期となりました。

子どもたちは，それぞれが目標を持って日々の学習や行事へ取り組み，様々なことを学び，大きく成長することができました。目標が達成できず落ち込んだり，失敗で自分を責めたり，人間関係に苦しんだり，楽しいことばかりではなかったかもしれません。しかし，周りのアドバイスを受けながら，自分なりの努力で壁を乗り越えることができたこと，努力して乗り越えようとしたこと，これら全てが学びであり，成長だと思います。

いよいよ，子どもたちにとっては，待ちに待っていた夏休みです。保護者の皆様にとっては，いかがでしょうか。子どもと過ごす時間が増え，楽しみもありますが，親は仕事があり子どもだけで家にいる時間が多くなり，心配もあるのではないかと思います。年々子どもの安全が脅かされているような事件や事故も発生しております。子どもたちにとって安全で楽しい夏休みになることを心から願っています。

３８日間の長期の夏休みとなります。学級懇談会の資料にあります「夏休みの生活について」を再確認していただき，生活のリズムを崩さず有意義な休みとしてください。また，１学期の学習を振り返り，できなかったことや曖昧な内容については，この夏休み中に取り組み，２学期の学習へとつなげて欲しいと思います。

夏休みは地域の行事に参加しましょう！

夏休みには，次のような地域の行事が予定されています。学校からもお知らせを配付しましたが，回覧板等でお知らせが回ると思います。積極的に参加して地域の方々とのふれ合いの機会がもてるようお家の方々からも声かけをよろしくお願いします。

○ラジオ体操（各地区）		
○富士川ふれあい食堂	７月２２日（日）	富士川悠遊館
○琢美地区球技大会	７月２９日（日）	善誘館小学校
○金魚すくい・納涼祭	８月　５日（日）	善誘館小学校他
○花火の日	８月１９日（日）	善誘館小学校
○親子三世代ふれあい広場	８月１９日（日）	富士川悠遊館
○琢美地区防災訓練（シェイクアウト訓練）	８月２６日（日）	善誘館小学校
○富士川地区防災訓練（シェイクアウト訓練）	８月２６日（日）	富士川悠遊館

※８月２６日（日）には，地区の総合防災訓練が行われます。善誘館小学校及び富士川悠遊館は，災害時には避難所となります。できる限り子どもたちの参加も保護者とともにお願いします。

夏休みは「失敗力」を育てるチャンスに

皆さんは「失敗力」と聞いて，どんな力を思い浮かべますか。「失敗力」とは，「失敗を恐れないでチャレンジし，うまくいかなくても立ち直る力」だと言われています。

これからの時代は，これまで以上に変化のスピードが速く，例えば，人工知能の発達で，今あるいくつもの仕事が自動化され，無くなってしまう職業が出てくると大学の研究チームが報告しています。未来はいつでも不確実ですが，その時に，子どもたちが幸せに生きていくためには，子ども自身が，変化に対応し自分で考え行動する力を身につけておくことが必要になります。失敗の経験を積むことが子どもに必要なそれらの力を伸ばすことに繋がるはずです。

「這えば立て，立てば歩めの親心」と言われますように，子どもが成長するにつれて親の望みは次第に高くなっていきます。お子様が初めて自分で歩いた時，皆さんはどうされましたか。きっと「こっち，こっち」と声をかけながら応援し，辛抱強く見守ったことでしょう。お子さんも，歩けることが嬉しくて，何度も転びながらよちよちと歩き出したことでしょう。しかし，日常生活の忙しさの中で，成長するにつれて，子どもが一人で出来るようになるまで見守ることが難しくなってきていませんか。

親は子どもより経験がありますので，子どもがやっていることに「それはダメでしょ」「そんなことしたら，うまくいかないわよ」「もっとこうしたら」などと口を挟んでしまいがちです。更には，手を出したり，代わりにやってあげたり，初めから目の前の石（障害）を拾ってしまうこともあります。しかし，そんな親心が時に子どもの成長を妨げることになっているかもしれません。また，親がこうあるべきとレールを敷くことにより，子どもは自分の気持ちや考えが素直に言えずに，期待という重荷を背負うことになる可能性もあります。

「失敗は成功のもと」と言います。時間に余裕のある夏休みこそ，失敗を恐れず，失敗からたくさんのことを学び，「失敗力」を育てる絶好の機会にしてみてください。

失敗をしない人間はいないでしょう。まして，子どもは経験が少ないので失敗があって当然です。子どもが親の手元にいる間に，できるだけ小さな失敗の体験をさせて欲しいと思います。失敗は，何かにチャレンジした結果と捉えてみてください。

始める前に，親子で何をやるかをしっかりと話し合うことが大切です。子どもの気持ちを大切にしつつも少し頑張ればできることを決めてください。例えば，普段親がやってあげている事（自分の着る服を選ぶ，洗濯をして干す，トイレの掃除）の中からお子さんができそうなことを任せるのも良いと思います。

事故や問題，相談ごとが生じたらすぐに連絡を

善誘館小学校　　２３３－４８０９
教育研修所教育相談室　２３２－８０１９　フリーダイヤル０１２０－０７８０７０

※不審者情報（特に，追いかけられた，体を触られた等の直接被害があった場合）は，まず警察へ第一報を入れてください。（容疑者確保に有効です）